

平成22年(2010年)3月期 第1四半期決算発表



2009 NEW環境展に展示された VR512自走式スクリーン (5月25日新発売)

I. 連結決算の概要

(単位:億円)

<対前年同期比>
売上高は1323億円、
対前年同期比
△43%
これは大幅な需要
減少によるもの

<当初計画比>
売上高△109億
主な要因としては、
需要が想定以下
だったため

営業利益
109億の売上減だ
と△38億程度の更
なる減益となるが、
①計画以上の間接
費低減34億円②棚
卸資産残高縮減に
よる未実現利益の
好転により、当初
計画比+16億の
△24億

・08年4Q営業利益
△79億と比較して
も損益悪化に歯止
めがかかった

・2Q以降は営業利
益の黒字化を図っ
ていく

		09年度 第1四半期	08年度 第1四半期	対前年 同期比
		(1,432)		
売上高		1,323	2,339	57%
		(△40)		
営業利益		△24	244	-
		(△65)		
経常利益		△41	270	-
		(△120)		
当期純利益		△86	125	-
為替	売上計上レート(円/ドル)	96.72	102.32	
	予約反映後レート(円/ドル)	93.22	104.64	
	売上計上レート(円/ユーロ)	130.52	160.61	
	予約反映後レート(円/ユーロ)	131.20	158.12	

注. ()内は09年4月対外発表値

要約連結損益計算書

(単位:億円)

	09年度 第1四半期	08年度 第1四半期	前年同期比	
			金額	%
売上高	1,323	2,339	△1,016	57%
売上原価	1,067	1,710	△643	62%
販売費・管理費	281	385	△104	73%
営業利益	△24	244	△268	—
営業外損益	△17	26	△43	—
経常利益	△41	270	△311	—
特別損益	0	△1	1	—
法人税等	33	106	△73	32%
少数株主損益	△11	△38	27	30%
当期純利益	△86	125	△211	—

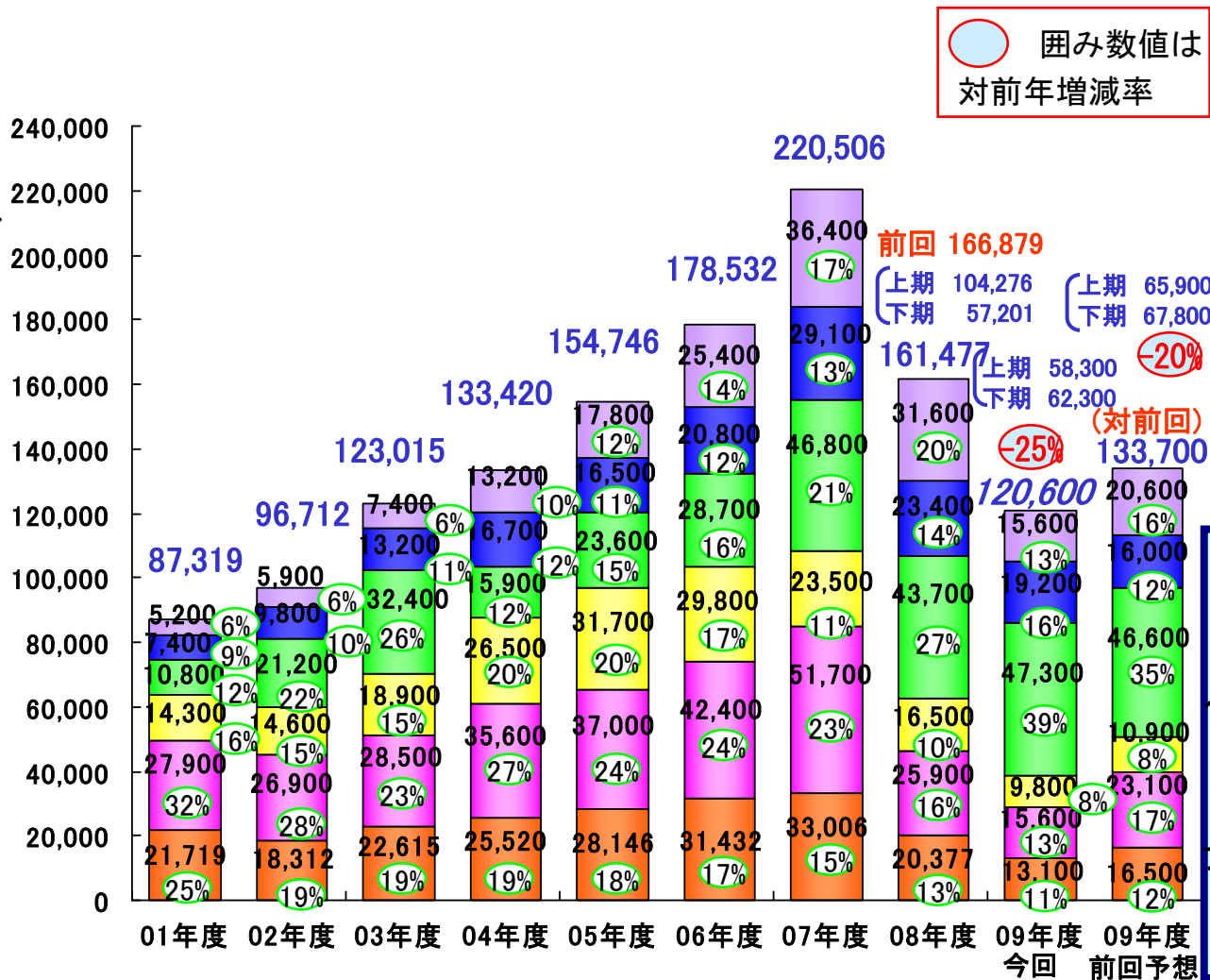
(台/年) 3月締ベース

油圧ショベル世界需要推移

•2008年度実績
を確定値
161,477台に置
き換えた

•当年度上期は、
昨年度上期需
要が旺盛だっ
たこともあり
△44%と大幅
減少

•足元では、需
要が日本・北
米・西欧で想
定以上に減少。
中国は、ほぼ
想定どおり。
アジア大洋州
は想定を上回
り、その他
は下回った



○ 囲み数値は
対前年増減率

	上期	下期	通年 (%)
計	-70	0	-51
その他	-41	25	-18
アジア・大洋州	3	15	8
中国	-57	-4	-41
北米	-61	12	-40
西欧	-54	-5	-36
日本	-44	9	-25

	上期	下期	通年 (%)
アジア・大洋州	-30	55	-1
インド	-51	75	-24
インドネシア			
その他			
ロシア・東欧・CIS	-83	-11	-69
アフリカ	-37	9	-19
中近東	-67	18	-44
中南米	-73	-16	-57

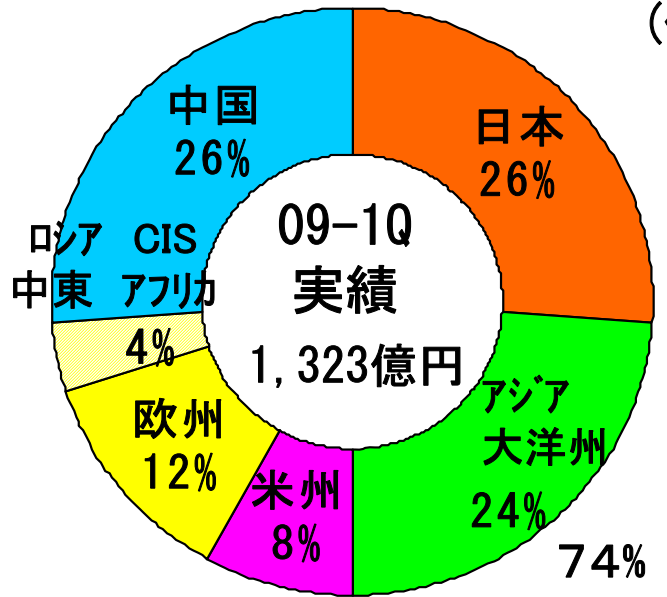
地域別売上比率・売上高(連結)

•売上高は、
対前年同期比
57%の1323億

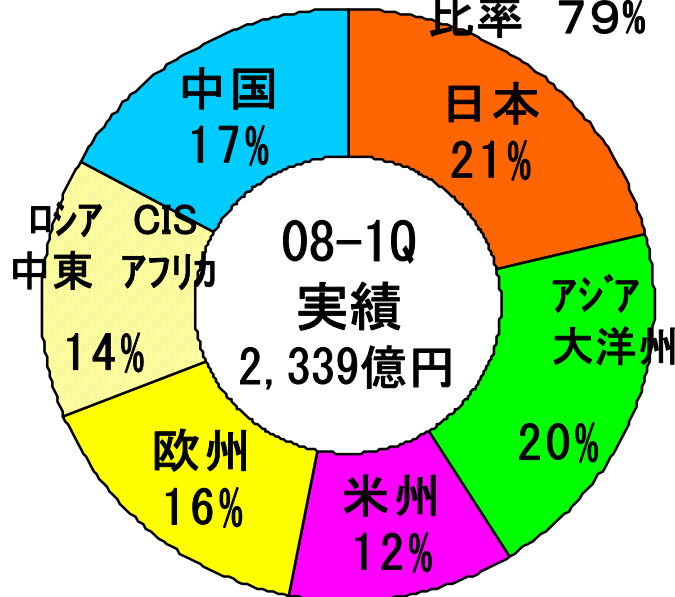
•ロシアCIS中東ア
フリカについ
ては、特にロ
シアで代理店
在庫圧縮のため
出荷停止中

•海外売上高
比率は、前年
同期と比べると
5ポイント減少
の74%

•09年1Qは、
中国と日本の
売上高比率が
同率



海外売上高
比率 74%



(億円)
2500

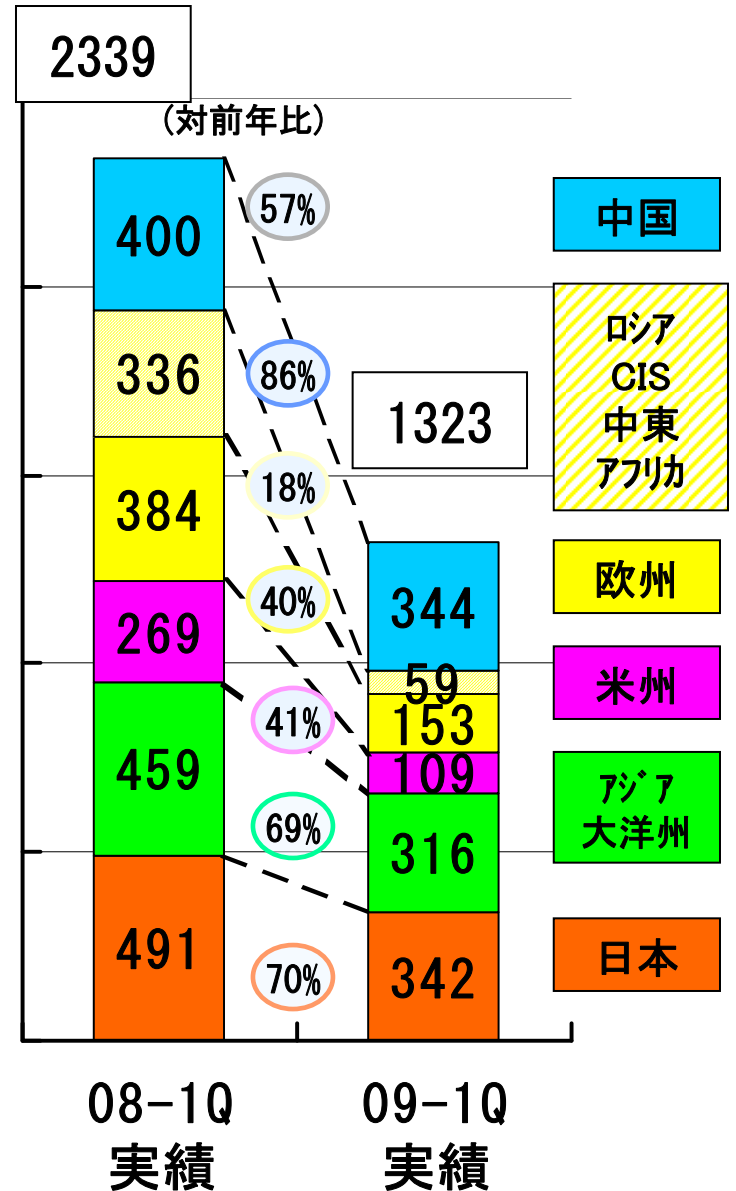
2000

1500

1000

500

0



08-1Q
実績

09-1Q
実績

(注) % は対前年伸び率

所在地別 売上高内訳(実績)

(単位:億円)

売上高増減の
主な要因
(08-1Q vs 09-1Q)

•日立建機△847億

国内△120億、
対前年同期比52%
→日本の需要減のため

輸出△727億、
対前年同期比21%
→在庫縮減のため
出荷大幅削減

•国内製造△216億

日立建機ティア、日
立住友重機械建機
クレーンの影響

•海外製造△629億

ヨーロッパ△412億
中国△131億

•海外・販売サービス
△352億

南ア、上海、豪、
米の各社、それぞ
れ50億程度の減収

		会社数		売上高			
		09-1Q 実績	08-1Q 実績	09-1Q 実績(A)	08-1Q 実績(B)	増減 (A-B)	増減率 (A/B)
日立建機		—	—	327	1,174	△847	28%
国内	製造	6	7	105	321	△216	33%
	レンタル	1	1	76	76	0	100%
	ソフト事業他	8	9	154	298	△144	52%
計		15	17	335	695	△360	48%
海外	製造	5	5	401	1,030	△629	39%
	販売・サービス	17	16	747	1,099	△352	68%
計		22	21	1,148	2,129	△981	54%
TCMグループ 注1		23	25	147	359	△212	41%
合計		60	63	1,957	4,357	△2,400	45%
連結調整				△634	△2,018	1,384	31%
連結売上高				1,323	2,339	△1,016	57%

注1) TCMグループ連結数値

要約連結損益計算書

(単位:億円)

•売上原価率
前年同期から
7.5%上昇
→売上減と円
高の影響

•販売費管理費
△104億だが、
物量減の影響
大きく、比率
は4.7%上昇

•売上減の影響
が大きく営業
利益率10.4%
→△1.8%と大
きく下落

	09年度 第1四半期		08年度 第1四半期		前年同期比	
					金額	%
売上高		1,323		2,339	△1,016	57%
売上原価	(80.6%)	1,067	(73.1%)	1,710	△643	62%
販売費・管理費	(21.2%)	281	(16.5%)	385	△104	73%
割賦利益調整額		0		0	0	-
営業利益	(△1.8%)	△24	(10.4%)	244	△268	-
営業外損益		△17		26	△43	-
経常利益	(△3.1%)	△41	(11.5%)	270	△311	-
特別損益		0		△1	1	-
法人税等		33		106	△73	32%
少数株主損益		△11		△38	27	30%
当期純利益	(△6.5%)	△86	(5.4%)	125	△211	-

所在地別 売上高・営業損益内訳(実績)

(単位:億円)

		売上高			営業損益		
		09-1Q 実績(A)	08-1Q 実績(B)	増減 (A-B)	09-1Q 実績(C)	08-1Q 実績(D)	増減 (C-D)
日立建機		327	1,174	△847	△113	53	△166
国内	製造	105	321	△216	△14	19	△33
	レンタル	76	76	0	△9	△14	5
	ソフト事業他	154	298	△144	5	13	△8
計		335	695	△360	△18	18	△36
海外	製造	401	1,030	△629	7	71	△64
	販売・サービス	747	1,099	△352	50	102	△52
	計	1,148	2,129	△981	57	173	△116
TCMグループ 注1		147	359	△212	△11	6	△17
合計		1,957	4,357	△2,400	△85	250	△335
連結調整		△634	△2,018	1,384	61	△19	80
連結売上高・営業利益		1,323	2,339	△1,016	△24	231	△255

注1) TCMグループ連結数値

営業損益増減
の主な要因

(08-1Q vs 09-1Q)

•日立建機(単
体)△166億

•国内子会社
△36億

•海外子会社
△116億

•連結調整 80億

①たな卸資産
未実現利益
+38億

②販促費(値
引の引当金)
戻入 +17億

要約連結損益計算書

(単位:億円)

•営業外損益
前年同期比
43億悪化

(詳細次項)

	09年度 第1四半期	08年度 第1四半期	前年同期比	
			金額	%
売上高	1,323	2,339	△1,016	57%
売上原価	1,067	1,710	△643	62%
販売費・管理費	281	385	△104	73%
営業利益	△24	244	△268	—
営業外損益	△17	26	△43	—
経常利益	△41	270	△311	—
特別損益	0	△1	1	—
法人税等	33	106	△73	32%
少数株主損益	△11	△38	27	30%
当期純利益	△86	125	△211	—

連結営業外損益比較(実績)

(単位:億円)

営業外損益増減
の主な要因

- 金融収支
△19億
受取利息の減少
△15億
→中国でファイナ
ンシャル会社設立、受取
利息が営業内に移る
- 持分法による
投資損益△11億
日立△3億
日立建機△4億
日立子会社△5億
- 為替差損益
△9億

	09年度 第1四半期	08年度 第1四半期	増減
金融収支	△12	7	△19
たな卸資産処分損・評価損	0	△1	1
持分法による投資損益	△6	5	△11
為替差損益	1	10	△9
その他	0	5	△5
計	△17	26	△43

要約連結損益計算書

(単位:億円)

•経常利益率

11.5%

→△3.1%と

これまでにな
い急激な落ち
込み

	09年度 第1四半期		08年度 第1四半期		前年同期比	
					金額	%
売上高		1,323		2,339	△1,016	57%
売上原価	(80.6%)	1,067	(73.1%)	1,710	△643	62%
販売費・管理費	(21.2%)	281	(16.5%)	385	△104	73%
割賦利益調整額		0		0	0	-
営業利益	(△1.8%)	△24	(10.4%)	244	△268	-
営業外損益		△17		26	△43	-
経常利益	(△3.1%)	△41	(11.5%)	270	△311	-
特別損益		0		△1	1	-
法人税等		33		106	△73	32%
少数株主損益		△11		△38	27	30%
当期純利益	(△6.5%)	△86	(5.4%)	125	△211	-

連結損益変動要因(実績)

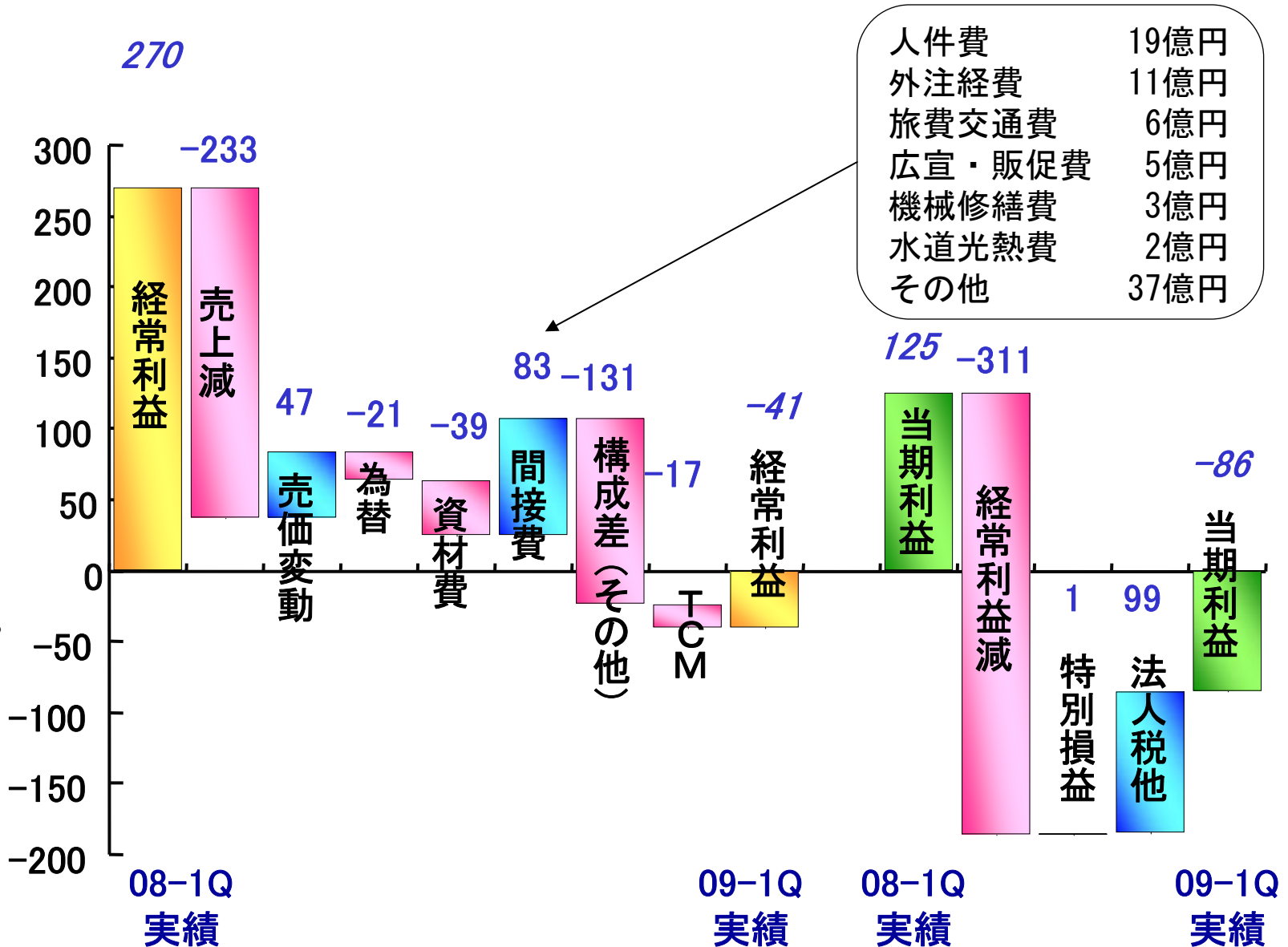
(08-1Q vs 09-1Q)

•**経常利益**
270→△41と
311億悪化

•**資材費**
昨年度2Q以降の急上昇により対前年同期比較では△39億のインパクト

•**売価変動**
47億
昨年後半に売価アップした分の効果。今年度の値上げは下期より予定。

•**間接費** 83億
計画以上の低減34億 (TCM5億を含む)達成



要約連結貸借対照表

(単位:億円)

•受手・売掛金
科目の表示変更等あり、受手・売掛金とリース債権投資資産を含めると、売上減により約200億減少

•たな卸資産
低需要期であるも売上促進と生産調整により約200億の縮減

•固定資産
投資抑制により増加に歯止め

•純資産
資本金・剰余金が1Q業績赤字、配当の実施により減少

•総資産の縮減もあり自己資本比率は上昇

•ネット有利子負債はほぼ横ばい

	(A) 09-1Q	(B) 08年度	(C) 08-1Q	(A-B) 増減
現金及び預金	437	401	595	36
受手・売掛金	1,379	1,759	2,318	△380
リース債権・投資資産	411	228	-	183
たな卸資産	2,474	2,683	2,403	△209
その他	335	317	509	18
流動資産計	5,036	5,388	5,825	△352
有形固定資産	2,248	2,270	2,177	△22
無形固定資産	265	262	212	3
投資その他	514	494	529	20
固定資産計	3,027	3,026	2,918	1
資産合計	8,063	8,414	8,743	△351

注1
手持日数(分母は売上高) (単位:日)

受手・売掛金等	102	97	87	5
たな卸資産	141	132	91	9

注1) 手持ち日数は受手・売掛金にリース債権・投資資産を含めて計算。

注2) (預け金)は現預金等の内数で親会社預け金。

	(D) 09-1Q	(E) 08年度	(F) 08-1Q	(D-E) 増減
支手・買掛金	658	1,004	1,719	△346
その他	2,839	3,140	2,504	△301
流動負債計	3,497	4,144	4,223	△647
固定負債計	1,342	960	887	382
負債合計	4,840	5,104	5,110	△264
少数株主持分	369	368	420	1
資本金・剰余金	3,093	3,224	3,214	△131
その他	△239	△282	△1	43
(自己資本比率)	(35.3%)	(34.9%)	(36.7%)	(0.4%)
純資産合計	3,223	3,310	3,633	△87
負債・純資産合計	8,063	8,414	8,743	△351

	(38.8%)	(35.7%)	(23.7%)	(3.1%)
有利子負債計	3,129	3,006	2,074	123
現金及び預金 (預け金)	499 注2(62)	401 (0)	620 (25)	98 (62)
ネット有利子負債	(32.6%) 2,630	(31.0%) 2,605	(16.6%) 1,454	(1.7%) 25

ネット D/Eレシオ	0.92	0.89	0.45	0.03
---------------	------	------	------	------

連結キャッシュフロー

(単位:億円)

13

•営業活動による
キャッシュフローは、在
庫縮減等により
+110億

•投資活動による
キャッシュフローは、設
備投資削減によ
り△45億に止め
た

•財務活動による
キャッシュフローは、社
債を300億調達し、
短期借入金を返
済し長短比率を
改善

区 分	09年度 1Q実績	08年度 1Q実績	増減
税金等調整前当期純損益	△41	269	△310
減価償却費	86	86	0
受取手形及び売掛金の増減額	397	221	176
リース債権及びリース投資資産の増加額	△198	-	-
たな卸資産の増減額	279	△235	514
支払手形及び買掛金の増減額	△391	△79	△312
法人税等の支払額	△52	△204	152
その他	30	16	14
営業活動	110	74	36
有形固定資産の取得による支出	△54	△159	105
有形固定資産の売却による収入	1	1	0
投資有価証券の取得による支出	0	△25	25
投資有価証券の売却による収入	1	0	1
その他	7	8	△1
投資活動	△45	△175	130
フリーキャッシュフロー	65	△101	166
短期借入金の増減額	△199	106	△305
長期借入金の増減額	10	△11	21
社債の増減額	299	0	299
配当金の支払	△56	△59	3
利息の支払等	△24	△22	△2
財務活動	30	14	16
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	20	△17
現金及び現金同等物の増減額	98	△67	165
現金及び現金同等物期首残高	401	687	△286
現金及び現金同等物期末残高	499	620	△121

Ⅱ. 連結業績予想

(単位:億円)

•先進国の需要回復遅れにより売上高は下方修正

•利益計画については固定費縮減等により減額を最小限に止めた

•配当金については、年間10円は現時点では最低金額と考えている

	第2Q累計			年度		
	09年度	08年度	対前年同期比	09年度	08年度	対前年同期比
売上高	(2,850) 2,700	4,541	59%	(6,200) 5,900	7,442	79%
営業利益	(0) 0	471	-	(270) 240	488	49%
経常利益	(△55) △55	455	-	(200) 156	478	33%
当期純利益	(△120) △85	222	-	(70) 50	183	27%
為替	売上計上レート(円/ドル)	95.96	104.99	/	95.38	101.37
	予約反映後レート(円/ドル)	94.53	104.72		96.47	103.05
	売上計上レート(円/ユーロ)	130.90	162.93		130.26	155.54
	予約反映後レート(円/ユーロ)	132.04	158.99		132.52	159.41
1株当たり配当金	5円	22円	-17円	10円	44円	-34円

注. ()内は09年4月対外発表値

09年下期の為替レート	
(円/ドル)	95.00
(円/ユーロ)	130.00

(複写・転用は御遠慮下さい)

(台/年)

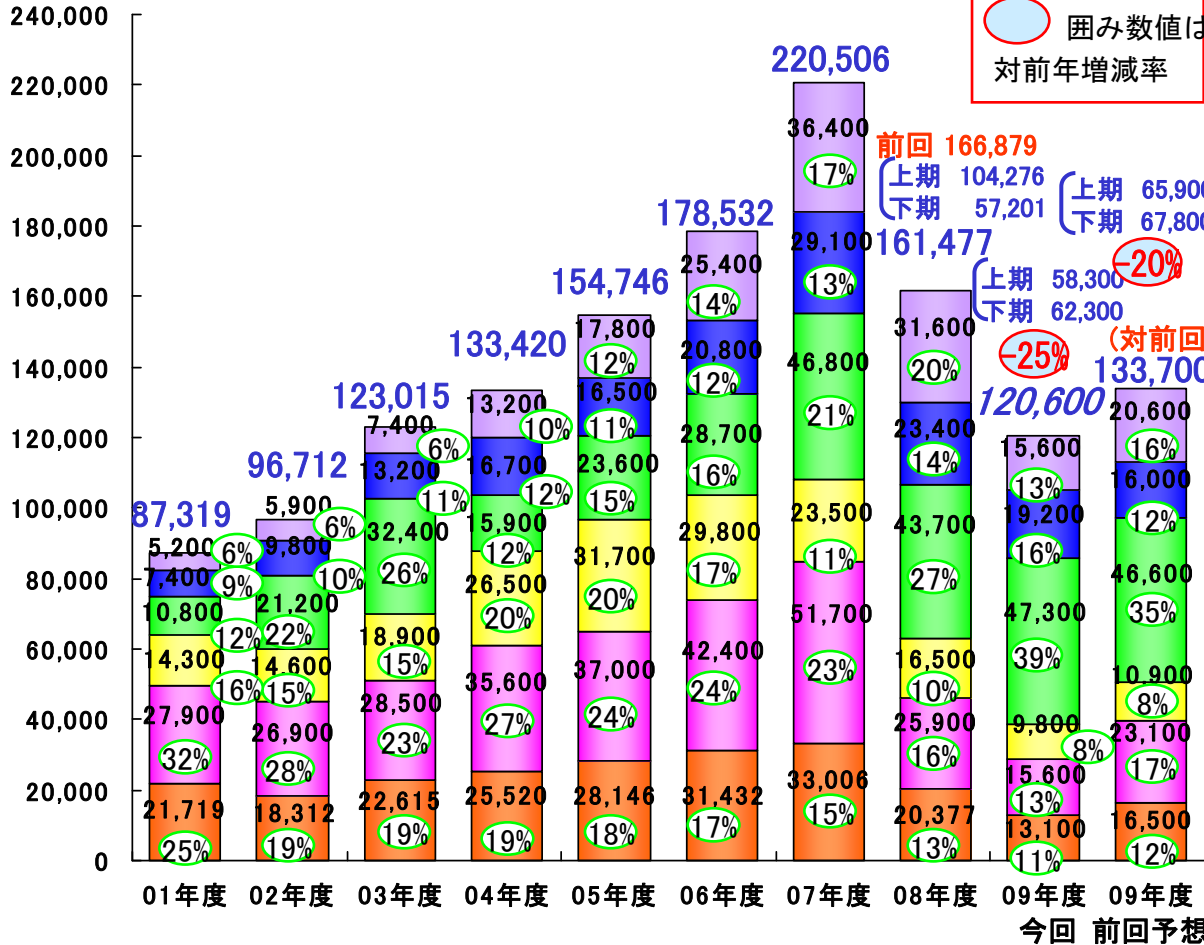
油圧ショベル世界需要推移

(当社調べ)

3月締ベース

上期 下期 通年 前回 (%)

●2009年度予想
133,700台
→120,600台へ
変更



● その他	-70	0	-51	(-39)
● アジア・大洋州	-41	25	-18	(-33)
● 中国	3	15	8	(7)
● 北米	-57	-4	-41	(-38)
● 西欧	-61	12	-40	(-16)
● 日本	-54	-5	-36	(-19)
計	-44	9	-25	(-20)

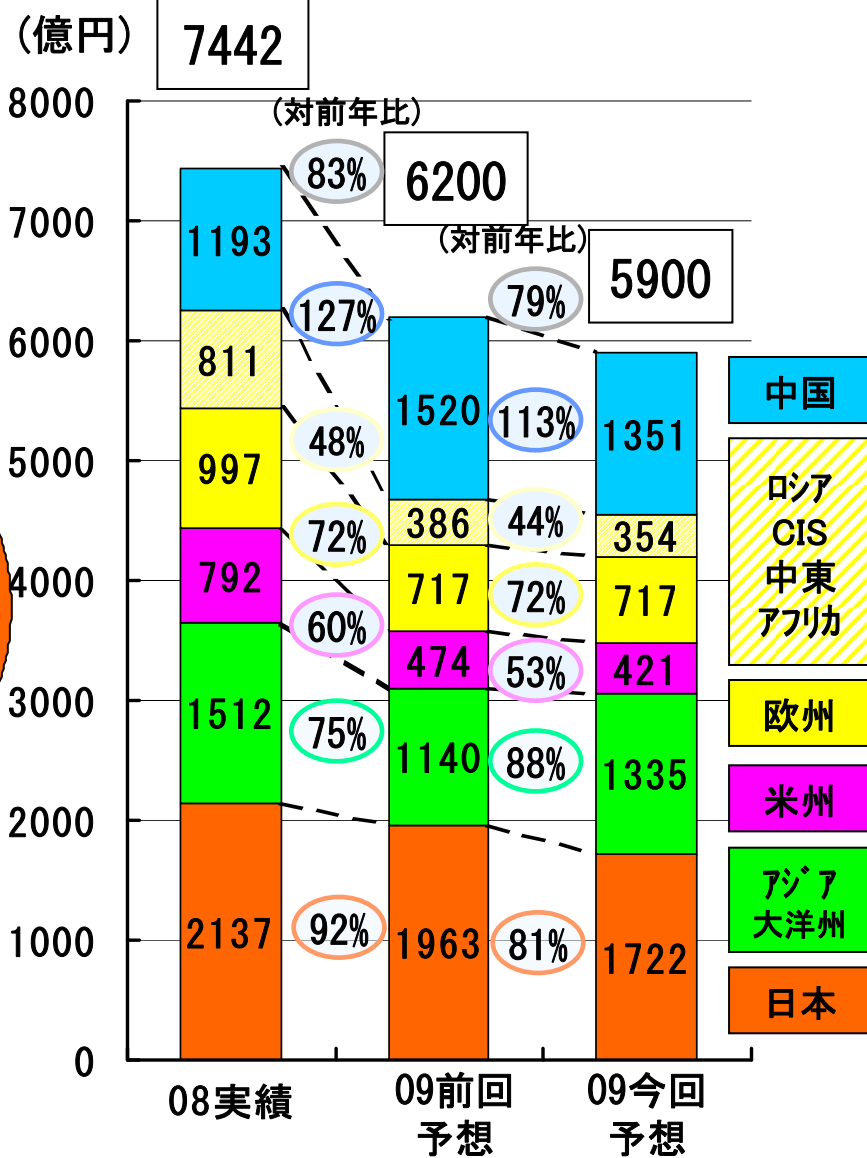
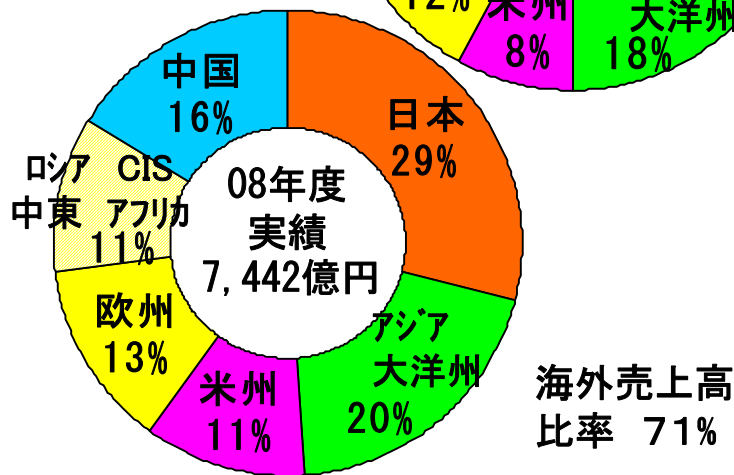
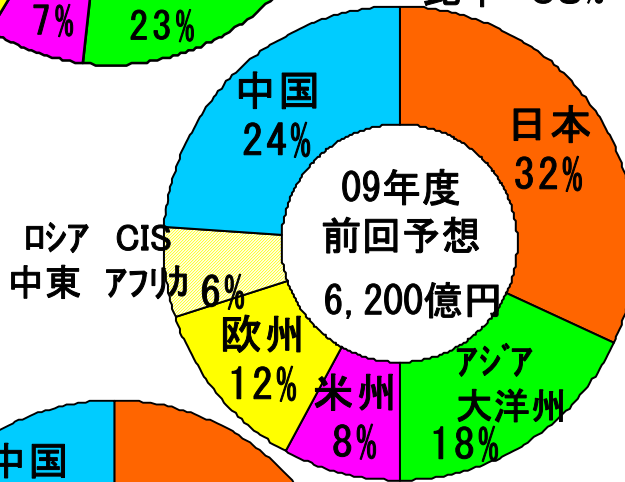
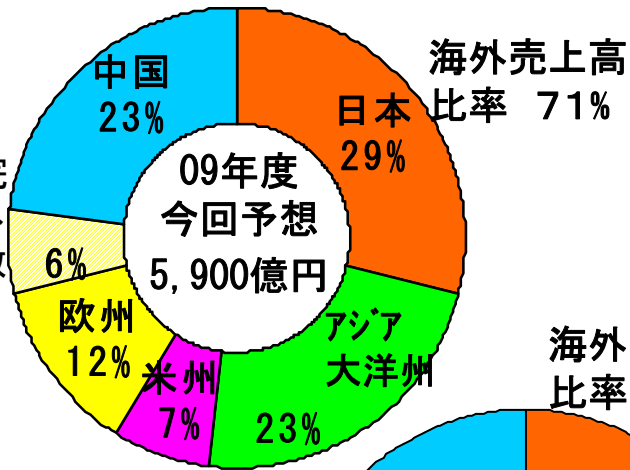
	上期	下期	通年	前回 (%)
アジア・大洋州				
インド	-30	55	-1	(-22)
インドネシア	-51	75	-24	(-56)
その他				
ロシア・東欧・CIS	-83	-11	-69	(-62)
アフリカ	-37	9	-19	(-17)
中近東	-67	18	-44	(-47)
中南米	-73	-16	-57	(-36)

地域別売上比率・売上高(連結)

・中国売上予想
を変更
→日本からの完
成車輸出ビジネ
スで当初強い数
字を織り込んで
いたため

・欧州は需要減
少しているが、
シェアアップにより
売上予想は据
え置き

・アジア大洋州
を上方修正



(注1) ○% は対前年伸び率

連結損益変動要因(予想)

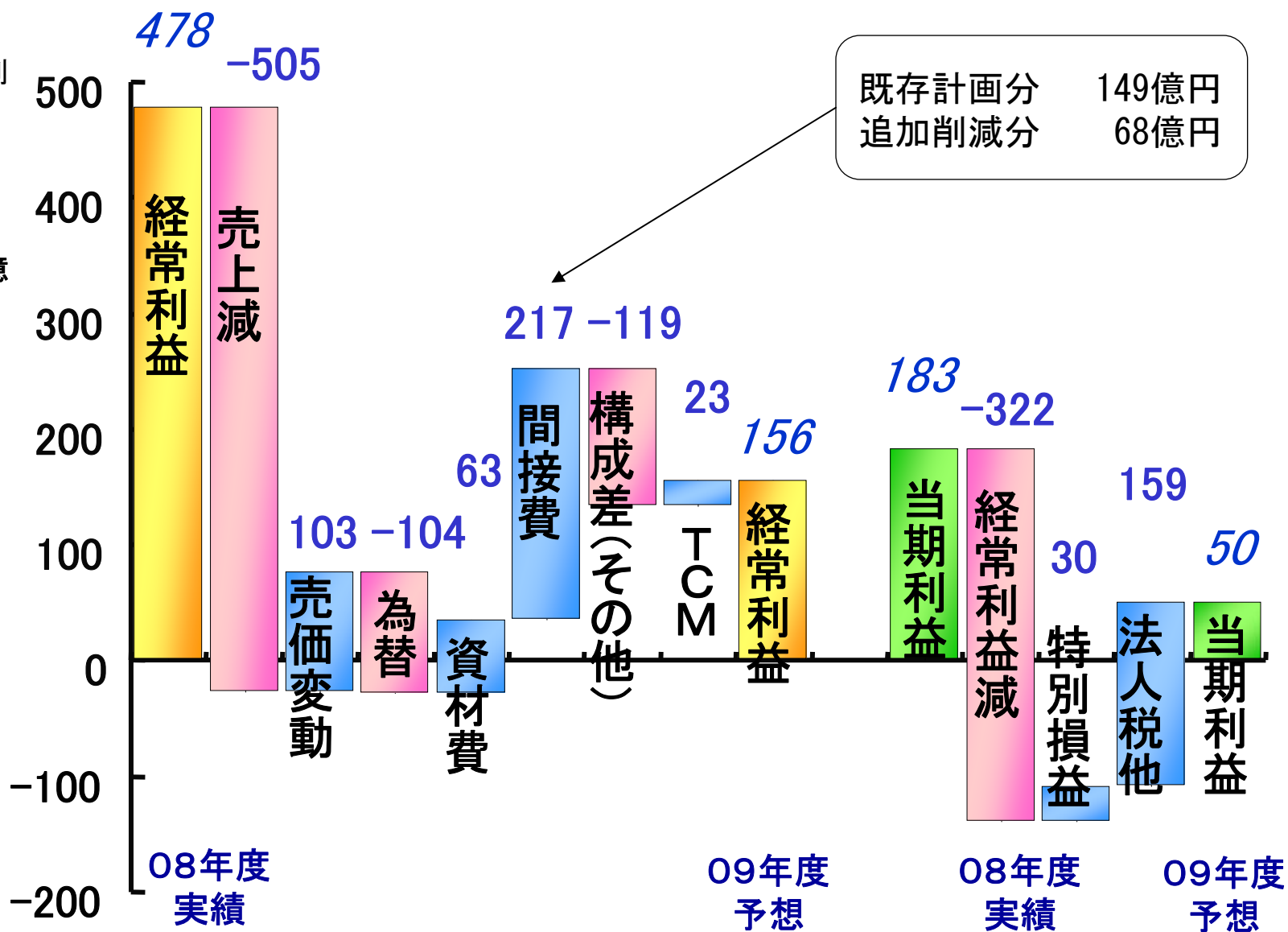
(08-1Q vs 09-1Q)

•物量減による利益減△505億、
為替△104億で
△609億の減益
要因

•売価変動 103億
今年度売価アップ
予定分は33億

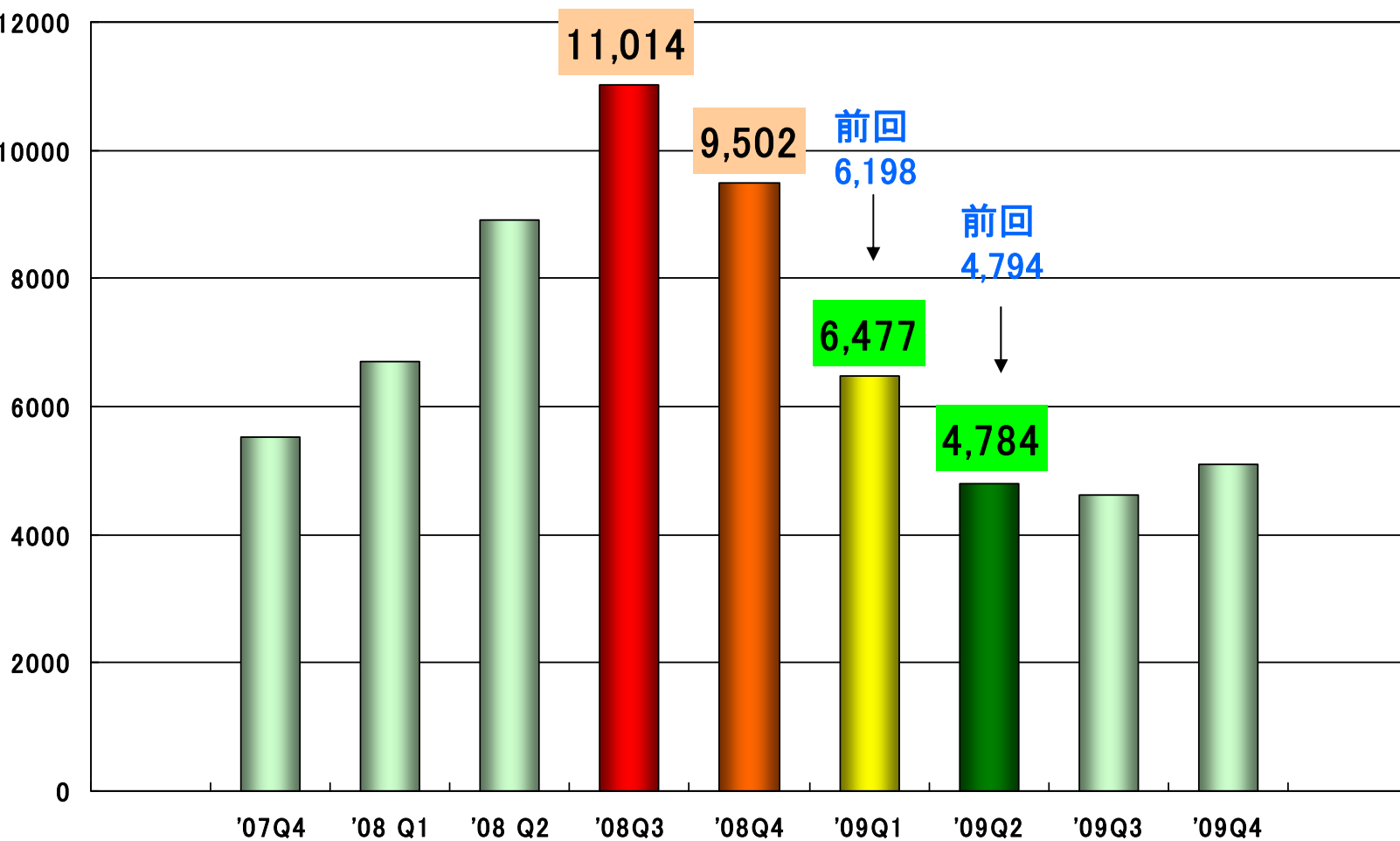
•資材費
現時点では資材
費低減は順調に
進んでいる

•間接費
既存計画149億、
更に追加削減68
億を予定



連結 油圧ショベル在庫推移

- 1Q末で当初計画比297台未達成だが、'08年4Qから3,025台縮減
- 9月末目標はほぼ当初計画通り



生産稼働状況(下期からの生産立上げ)

【中型ショベル組立ライン稼働日】

【生産立上(中型ショベル生産ライン)】

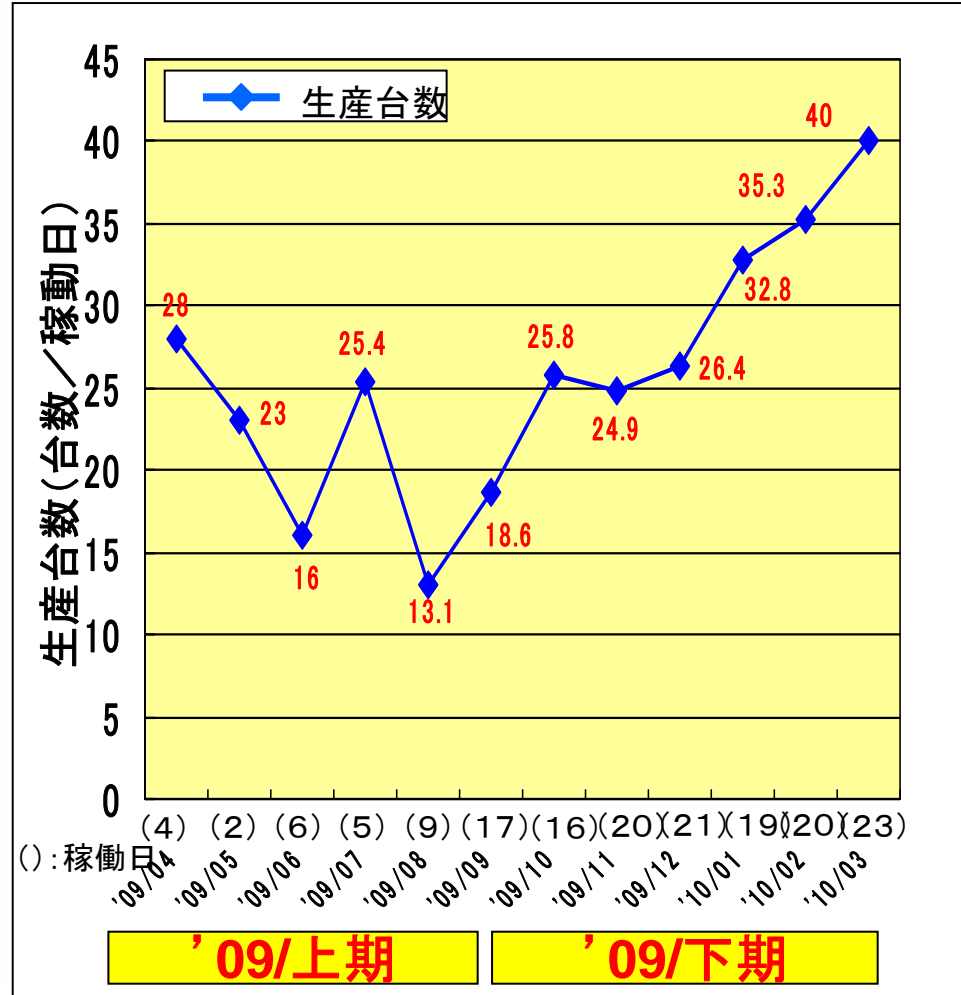
•当初は7月以降
 帰休日や生産ゼ
 ロ日を解除する
 計画だったが、8
 月も引き続き実
 施、9月も一部実
 施予定

•在庫調整の進
 展に伴い、工場
 の操業が回復す
 るため、今後は
 黒字化の見通し

区分	日	月	火	水	木	金	土
4月 (4日)	29	30	31	1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
5月 (2日)	26	27	28	29	30	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
6月 (6日)	24	25	26	27	28	29	30
	31	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
7月 (5日)	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
8月 (9日)	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
9月 (17日)	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
10月	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10

-G&O切替による追加非稼働日-

(稼働日) 生産ゼロ日 帰休日



2009年7月16日現在

完